

決算特別委員会の審査

平成24年度一般会計決算及び国民健康保険特別会計決算は多数決、そのほかの決算は全会一致で、原案のとおり認定されました。

決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

一般会計

歳入関係

質疑 ふるさと応援寄附金は歳入確保の増加が期待できる事業。全国で有名になる特産品を贈呈しないか。

答弁 「ふるさと納税」をされた方へのお礼の方法は改善の余地があるので研究します。

質疑 入湯税に滞納がある理由と、滞納者には毅然たる対応の考えは。

答弁 利用者からの預かり税なので、完納に向けた納税指導や、倒産等への影響も考えられるので、分納指導をしていきます。

総務費・消防費・予備費

質疑 一般財源枠配分方式の検証結果と今後の取り組み

みは。

答弁 枠配分基準額に対して2・3%の削減ができたが精査、検討を重ねながら実施していきます。

質疑 タバコは健康に対する悪影響が指摘されている。税の増収対策としての補助

金は廃止すべきでは。

答弁 5億円以上の税収がありクリーン作戦等への活動による効果があります。

質疑 (株)渋川市民ゴルフ場は経営も厳しく、早急に事業から撤退し精査する考えは。総務省が第3セクター

等の抜本的改革について、平成21年度から平成25年度までの5年間で、集中的に取り組むよう要請している。具体的な取り組みは。

答弁 会社としても、経営改善の取り組みについて議論されていますが、厳しい状況なので会社側と協議して対応します。

抜本的改革への取り組みについては着手できないので、早急に検討します。

質疑 町名表示実施事業の内容と今後の取り組みは。

答弁 21回の説明会と推進委員会設立の中では6回の会議を開催。今後はアンケート調査を行い、その結果を待つて対応します。

質疑 防災会議の内容は。委員に女性枠の拡大及び災害時要援護者の採用は。

答弁 会議は3回実施。委員数は平成23年度までは46人。平成24年度からは50人

委嘱し、地域防災会議の見直しを行いました。また女性枠の拡大、要援護者の採用はともに検討します。

質疑 備えている防災備蓄品は。備蓄品に乳児の粉ミルクを備えられないか。

答弁 平成24年度はアルファ米、乾パン、缶詰、アレルギー対応食を購入。限られた予算だが対応できるよう努めます。

質疑 65歳以上の高齢者や障害者等に民生委員を通して配布し、範囲を広げての配布に努めます。

質疑 放射線低減対策の事業の内容は。ホットスポットが消滅しきれていない。今後の対応は。

答弁 除染の実施。今まではマニュアルで行っていたが、今後は出向いて測定したうえで方法を検討します。

質疑 国民健康保険特別会計(診療施設勘定)の操出金の基準と使用は自由裁量か。

答弁 ルールはないのでルールづくりを検討し、効率的な経営をし、削減に努めます。

農林水産業費

質疑 選別農薬農法の成果と種別の方法、使用について市が指導しないか。

答弁 慣行農法との比較では差異はなく、種別については瓶(袋)に表示されており、選別農薬農法に参加した人は指導できます。

質疑 有害鳥獣駆除の委託料の内容は。

入湯税!
中間搾取は、やめましょう。



備蓄されている非常食

民生費・衛生費

質疑 救急医療情報キットの内容と救急搬送の例は。また一般配布の考えは。

〔答弁〕 捕獲隊8隊（赤城、子持が2隊ずつと渋川、伊香保、小野上、北橋が各1隊）87人への委託で被害の減少に努めています。

商工費・土木費

質疑 耐震改修促進事業の実績が伸びない理由は。補助額の増額への考えは。

〔答弁〕 高齢者が多く、予算化が難しいことが考えられるので検討します。

質疑 無指定の一般補修事業の地域要望の取り扱いは。

〔答弁〕 道路愛護期間中に受付をし、すぐできるもの、できないもので文章で回答しています。道路の維持管理、予算確保に努めます。

質疑 住宅リフォーム促進事業の内容と、エコから一般に拡大は。

〔答弁〕 省エネ化推進の取り組みであり、平成24年度は123件の実績。効果もあるので検討します。

教育費

質疑 特別支援教育支援員配置の内容は。

〔答弁〕 19校に36人配置し学習支援、日常生活支援等を

実施。平成26年度の学校側からの希望人数は50人で、支援員の人材が不足傾向です。

質疑 学校の巡視の状況は。台風18号の影響で、学校の屋上のフェンスが倒れた。安全対策は。

〔答弁〕 年に1回学校、幼稚園を1日2校の割合で実施。計画訪問は6月、7月、9月に行っています。巡視をしつかり行う中で危険を予知し安全対策を図ります。



台風で破損した屋上フェンス

特別会計

国民健康保険特別会計

質疑 国保会計は基金を積んだり、取り崩したりの綱渡り状態にある。対策は。

〔答弁〕 健康維持増進の周知を図り、医療費の削減に取り組みます。

病院事業会計

質疑 救急患者の受け入れ状況と救急車搬送件数は。土・日曜日の対応は。

〔答弁〕 平成24年度は1479人、546件でした。土

・日曜日とも対応しています。救急隊と連絡を密にし受け入れに対応します。

水道事業

質疑 県央第二水道からの受水量と買取価格は。価格の見直しの交渉は。

〔答弁〕 受水量は29万200トで、ト当たり110円です。単価の見直しについては要望書を提出していますが、今後も交渉の中で単価引き下げに努めます。

平成24年度各会計決算総括表

(単位 千円)

会計名		歳入額	歳出額	差引残額	
一般会計		35,219,594	33,049,372	2,170,222	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	10,539,962	9,773,303	766,659
		(診療施設勘定)	127,803	127,803	0
	後期高齢者医療	927,869	922,454	5,415	
	介護保険	7,032,760	6,996,583	36,177	
	特別養護老人ホーム事業	41,943	41,943	0	
	農産物直売事業	8,762	8,371	391	
	伊香保温泉観光施設事業	97,787	97,787	0	
	小野上温泉事業	37,154	37,154	0	
	交流促進センター事業	8,491	7,126	1,365	
	下水道事業	2,114,118	2,096,265	17,853	
	農業集落排水事業	1,176,397	1,170,895	5,502	
	個別排水処理事業	19,525	19,525	0	
	簡易水道事業	250,168	250,168	0	
	企業会計	水道事業	収益的	1,722,500	1,581,959
資本的			102,305	768,423	▲ 666,118
病院事業		収益的	1,544,211	1,675,352	▲ 131,141
		資本的	191,298	191,298	0